

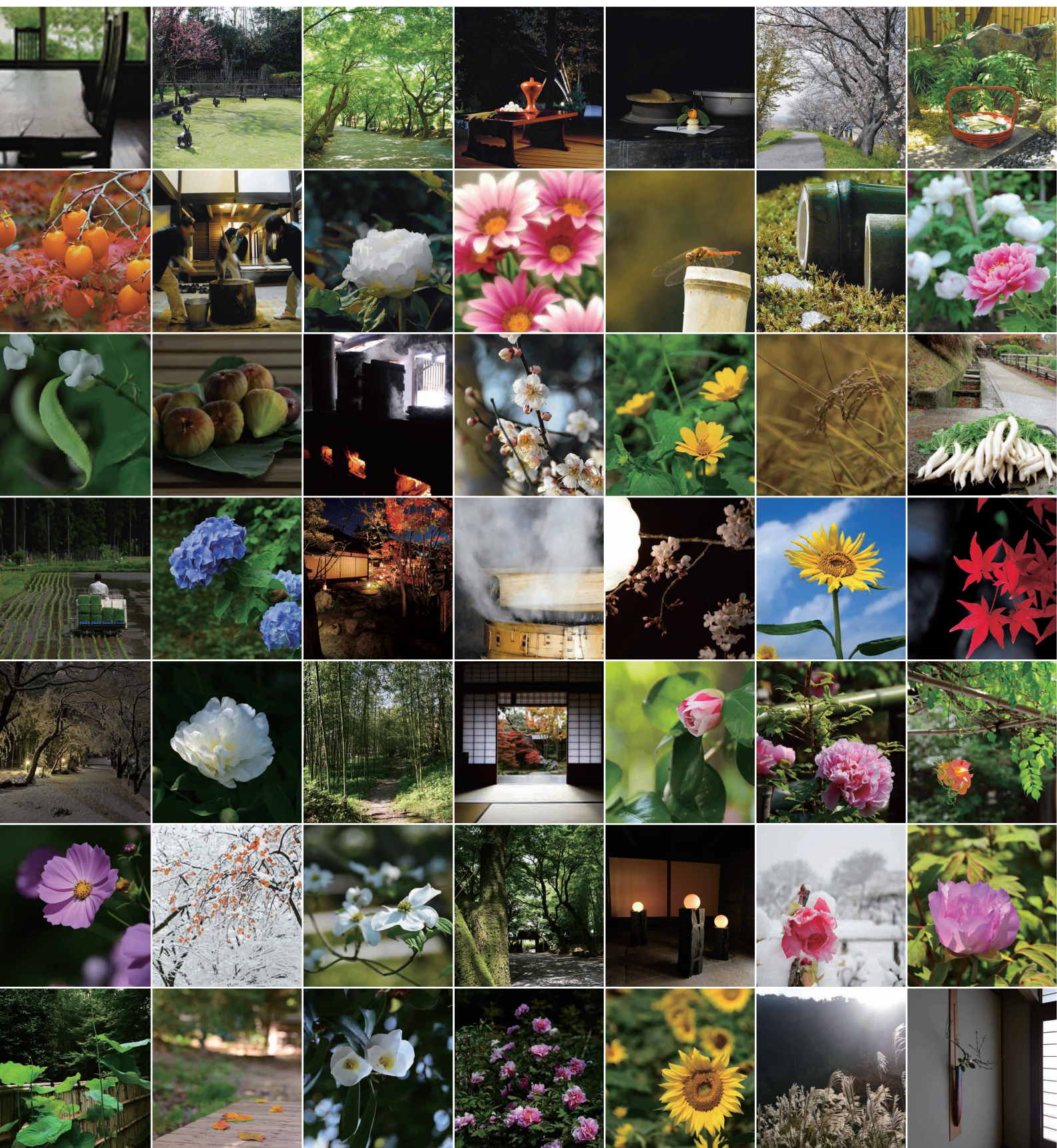
VOL. 50
SPRING 2019

心豊かな暮らし

縁

yabashinoie

EN



VOL.3 夏
2007年 7月

自然と共にすくすく育つ
Y 様邸

心豊かな暮らし
季刊誌
緑
総特集

季刊誌「緑」発行50号を記念して、これまでに掲載をさせて頂きました記事をご紹介します。

50号に至るまで12年間続けてこられたのも、快く取材にご対応頂きましたお客様お一人お一人のおかげです。

ご協力頂きました皆様に、心より御礼申し上げます。

VOL.4 秋
2007年 10月

無垢に包まれるぬくもり
E 様邸

VOL.1 創刊号
2007年 1月

昭和初期の洋館で癒される
S 様邸

VOL.5 冬
2008年 1月

手づくりを通して広がる友達の輪
O 様邸

VOL.2 春
2007年 4月

大垣でスローライフ
I 様邸



史跡 赤坂お茶屋屋敷 牡丹園

心豊かな暮らし

緑 VOL.50 SPRING 2019

contents

P 2 >> 心豊かな暮らし 季刊誌「緑」総特集

P 11 >> ベトナムの技術力 養蜂 Nghề nuôi ong (ゲイー スオイ オーン)

P 13 >> 老舗養蜂問屋「秋田屋本店」様をご紹介します

P 14 >> SGH 国際交流 大垣北高等学校

連載
中山道赤坂つれづれの記 文/故 清水春一
平将門伝説と矢橋賢吉工学博士(三)

史跡 赤坂お茶屋屋敷 牡丹園

当園の牡丹は、明治・大正・昭和にかけて故矢橋龍吉翁が史跡赤坂お茶屋屋敷内の花畑に、自然を愛し、種々の優雅な草木とともに昔ながらの有機農法のもと丹精込めて栽培してきたものです。4～5月上旬、約800株の牡丹が見頃を迎えます。また園内には、牡丹だけではなく、黄金柏や御衣黄など様々な木々や花があり、新緑や紅葉、冬に咲く寒牡丹など一年を通して自然の美しさを



感じていただくことができます。門は、一年中開け放しにしております。心おきなくご来園いただき、四季の移ろいを感じてください。

※ 見頃は目安であり天候等により異なります

所在地：岐阜県大垣市赤坂町3421-1

表紙写真：本誌VOL.1～49の表紙写真

VOL.15 夏 2010年 6月




健康に配慮して快適に暮らす M 様邸

VOL.12 秋 2009年 9月





うるおひの丘に暮らして O 様邸

VOL.9 冬 2009年 1月




スープの冷めない距離で M 様邸 / H 様邸

VOL.6 春 2008年 4月





みんなで食べるとおいしいね K 様邸

VOL.16 秋 2010年 9月






住まう楽しみ H 様邸

VOL.13 冬 2009年 12月




平屋を楽しむふたりの時間 T 様邸

VOL.10 春 2009年 4月




心が落ち着く温もりのあるあかり Y 様邸

VOL.7 夏 2008年 7月




お引き渡し後も仲良しです N 様邸

VOL.17 冬 2010年 12月





心地いい環境で趣味を味わう E 様邸

VOL.14 春 2010年 3月





みんなで一緒に暮らす H 様邸

VOL.11 夏 2009年 7月





ふたりでのんびり暮らす S 様邸

VOL.8 秋 2008年 10月




楽しんでます家庭菜園 M 様邸

VOL.26 春 2013年 3月



暮らしを豊かに彩る I 様邸

VOL.23 夏 2012年 6月



つながる街で楽しく暮らす O 様邸

VOL.21 冬 2011年 12月



心豊かな暮らし
Golf 榊原温泉ゴルフ倶楽部

VOL.18 春 2011年 3月



木の温もりに包まれて
ほっと一息できる家 S 様邸

VOL.27 夏 2013年 6月



こだわりの家で心地よく暮らす S 様邸

VOL.24 秋 2012年 9月



趣味を楽しみながら
ペットと共に暮らす家 I 様邸

VOL.22 春 2012年 3月



みんなが集まる掘座卓 S 様邸

VOL.19 夏 2011年 6月



家族のつながりを感じて暮らす H 様邸

VOL.25 冬 2012年 12月



温故知新の家づくり T 様邸

VOL.20 秋 2011年 9月



匠の家に暮らす F 様邸



匠

石と木が心地よく調和した
こだわりの平屋建て

Y 様邸



空間の「悠」を楽しむ

T 様邸



楽家事の家で子どもと集う

O 様邸



ONとOFFを切り替えて
家ではくつろぐことにしました

T 様邸



夫婦ふたりの「これからの家」

I 様邸



お互いに気持ちよく暮らす家

S 様邸



人が集う家に三世代で共に暮らす

O 様邸



手づくりの生ハムとワインで

T 様邸



親子二世帯
歩いて行ける距離で暮らす

M 様邸



和やかに住まう平屋の家

K 様邸



夫婦ふたりの「終の棲家」

K 様邸

VOL.48 秋 2018年 9月



匠 森のような庭に癒され
木の温もりに包まれる暮らし Y 様邸

VOL.46 春 2018年 3月



VOL.42 春 2017年 3月



住むほどに木のぬくもりを実感する
のびやかな住まい M 様邸

VOL.39 夏 2016年 6月



みんなが集まるにぎやかな家 S 様邸

Vol.49 冬 2018年 12月



匠 壮大な庭園を愛で
癒される暮らし M 様邸

Sunnyside International School



VOL.43 夏 2017年 6月



匠 文化が薫るまちで
穏やかに暮らす N 様邸

VOL.40 秋 2016年 9月



匠 Renovation 施工例 三宜亭

季刊誌のバックナンバーは、自社HP「矢橋の家」にてご覧いただけます。
www.yabashi.co.jp/house/



心豊かな暮らし
矢橋の家

バックナンバー ▼

心豊かな暮らし
矢橋の家
vol.49
縁
yabashinoie

矢橋の家のインスタにも
ぜひ、お立ち寄りください。

Instagram

@yabashinoie

矢橋林業株式会社
☎ 0120-884-039

VOL.47 夏 2018年 6月



匠 温故知新の
リノベーション Y 様邸

VOL.44 秋 / 45 冬 2017年 9月 / 12月



矢橋林業の社員が建てた「矢橋の家」 K 様邸

VOL.41 冬 2016年 12月



赤ちゃんの頃から
本物の木の温もりに触れさせたい Y 様邸

Vietnam Art
ベトナムの技術力

養 蜂



ゲイー ヌオイ オーン= 養蜂 Nghề nuôi ong

ベトナム ハノイに隣接しているヴィンフック省にて営まれている養蜂業。
グエン グォク ヴァンさんとチャン チィ ニャムさんは、この地で、不純物のない天然のはちみつを採蜜している。ヴィンフックは高地であり、ハノイと比較すると10度程気温が低く、冬は寒く、夏は涼しい。このため、気温が低い時には、巣箱を保温するなどし、常にミツバチが良い状態でいられる様、管理している。ミツバチは、在来の東洋ミツバチであり、色が黒いのが特徴である。ここでは、高度により咲く花が違いため、様々な香りが混ざり、純度が高く、香りの良いはちみつができる。



養蜂家
グエン グォク ヴァン
Nguyễn Ngọc Vân



Vinh Phuc

ヴィンフックは、ベトナム仏教の発祥地とも言われ仏教寺院も多いが、フランス統治時代の建築も多々あり、観光地や避暑地としても名高い。また、ハノイの国際空港や港からのアクセスも良く、日本の企業も多く進出しており、北部の重要経済地域としても知られている。



養蜂家
チャン チィ ニャム
Trần thị Nhâm



自宅のベランダに巣箱を置いて養蜂を行なっている▶

◀ 養蜂家グエン グォク ヴァンさん(2列目右から2番目)、チャン チィ ニャムさん(3列目右) 秋田屋本店社長ご子息様(3列目左) 弊社社長(1列目右) VINACAD取締役(1列目左)



老舗養蜂問屋の秋田屋本店の社長も認めた ベトナム ヴィンフックの 天然のはちみつ

今回、秋田屋本店の社長中村様、ご子息様と一緒に弊社社長がヴィンフックの養蜂家を尋ねました。きっかけは、矢橋のグループ会社 VINACADの取締役である Nguyen Duc Thang (グエン・ドゥック・タン) がベトナムから日本へ持って来たはちみつ。知人の養蜂家が作ったというはちみつがとても美味しかったため、中村社長様にもご賞味いただいたところ、美味であると評価をしていただきました。しかし、不純物が混ざっているものもあると、ベトナムのはちみつに対して良い印象をお持ちではありませんでした。しかしながら成分を調べてみると、不純物が混入していない、高級な純粋のはちみつであることがわかりました。そこで、どのような環境で養蜂を行なっているのかを現地にて見学させていただきました。



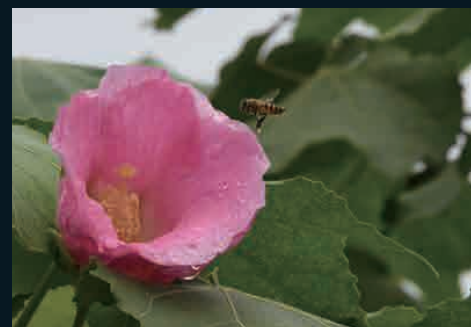
一切手を加えない純粋な国産はちみつ(百花はちみつ)

近江余呉の純粋 はちみつ

街づくりや庭づくりを行なっている矢橋グループの 三星磁業株式会社 グリーンコート事業部では、秋田屋本店様にご指導をいただき、滋賀県長浜市余呉町にて養蜂をはじめました。日本の原風景である美しい広葉樹林。本物の食材は、自然の営みの中に生まれます。本物を追求し、自然の恵みをいただくことは、「心豊かな暮らし」に繋がるのではないかと思います。

三星磁業株式会社 グリーンコート事業部 AGROFORESTRY 余呉農園
滋賀県長浜市余呉町下丹生665 TEL.0749-86-3021 MAIL. yogo@mail.yabashi.co.jp

YABASHI FORESTRY
AGROFORESTRY



ハチの巣で作ったお酒

SGH

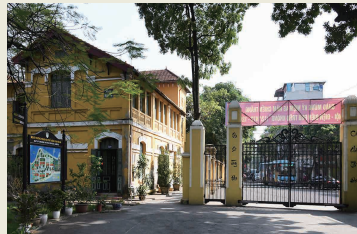
Super Global Hight School

スーパーグローバルハイスクール
(略称：SGH)とは・・・
国際的に活躍できる人材育成を重点的に行う
高等学校を文部科学省が指定する制度

国際交流 スーパーグローバルハイスクール 大垣北高等学校



スーパーグローバルハイスクール指定校である大垣北高等学校の学生が、グローバルに展開する企業について学ぶ授業の一環として、アジアの新興国で事業活動を行なっている弊社に来社されました。
当日は、設計図面を取り扱っている部署とプレカット工場を見学された後、弊社のベトナム、ミャンマー、中国、韓国、モンゴル出身の社員と学生が将来の夢などについて語り合いました。



チュー・ヴァン・アン高校とは・・・
ハノイで最も優秀な学校の一つであると言われている高校
校舎は、フランス建築で、国家文化歴史遺産に登録されている
2018年に創立110年を迎えた伝統校

弊社を見学された生徒は、フィールドワークとして、ベトナム ハノイ市の伝統校である「チュー・ヴァン・アン高校」へ行き、現地の学生と国際交流をされました。また、弊社社長の矢橋と、この高校の卒業生であるVINACAD取締役のダン・ホアン・アインの案内で、現地のグループ会社であるVINACADも見学していただきました。



季刊誌「縁」VOL.50 に際して

この度、弊社の住宅部門の季刊誌を発刊して50号を迎える事となりました。これもお施主様の皆さま方から大切な家づくりのご用命をいただいた賜物と存じ、衷心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

50号に至るまでに12年の歳月が過ぎました。干支で申し上げれば一回りでございます。この12年間で住宅市場は大きな変化を遂げました。

法律の基準も変わり、耐震・耐火など安全安心の基準や、断熱性能・換気といった環境基準も向上しました。

そういう社会情勢ではありますが、残念なことに市場では一生に一回の大きな買い物にも関わらず、品質、環境性能、住環境をしっかりと調べて、本当に良い物を選ぶお施主様が減りつつあるのが現状です。市場は暮らしを豊かにするために良い物を求めるお施主様と、暮らせれば良いというお施主様と二分されて来たと言えるのではないのでしょうか？デフレ経済下で値段が最優先される傾向が強まりました。

良くてもお値打ちであるコストパフォーマンスの良さは、どのような商品にも求められる条件であります。弊社は品質向上を前提として、コストダウンにも12年間取り組んで参りました。構造材のプレカット工場の改善活動を推進しコストダウンに努め、造作材の海外生産化を実現し、更に高品質の人の手による高度な加工の海外化を進めております。現場の工事の標準化と共に整理・整頓・清掃・清潔・躰を徹底してムリ・ムダ・ムラを削減し効率化を進めて参りました。

温故知新を掲げて、日本人が木と共に暮らしてきた伝統的な木の素晴らしさを伝え、新しい技術を開発し「心豊かな暮らし」が叶えられる家づくりを探索し、「衣、食、住」という、その国の文化を支える基礎を堅持していかなければならないと考えております。これからもお施主様に満足してお住まい頂き「心豊かな暮らし」が実現できる家づくりに精進して参りますので、何卒ご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

矢橋林業株式会社 代表取締役社長 矢橋龍宜

老舗養蜂問屋「秋田屋本店」様をご紹介します。

秋田屋本店
AKITAYAHONTEN

弊社の AGROFORESTRY 余呉農園は、秋田屋本店様より養蜂のご指導をいただいています。

銘木「秋田杉」を扱う材木商からはじまり、200年以上の歴史をもつ秋田屋本店。はちみつ、ローヤルゼリー、プロポリスなどの蜂産品や、巣箱をはじめとする養蜂器具の製造・販売からミツバチの販売まで、養蜂の総合商社として、その歴史と伝統を礎に、安心・安全を求め、たゆまぬ研究開発、徹底した品質管理により実績を積み重ねています。



養蜂部創設当時の看板

健康なミツバチ

安心・安全で高品質な、はちみつ、ローヤルゼリー、プロポリスなどの採取には、第一に農薬などに汚染されていない草花が育つ豊かな自然環境と、そこから蜜を採取し優れた貯蜜力を持つ健康なミツバチが必要です。秋田屋本店のミツバチは、「秋田屋系優良種」と呼ばれ、安心・安全なミツバチとして全国の養蜂家の皆様に届けられています。

明治時代の1887年から130年余製作している「いろは巣礎」は日本の気候に適した良質巣礎であり、その実績はミツバチが一番よく知っています。

「いろは巣礎」秋田屋本店オリジナル巣礎
巣礎(すそ)とは？ミツバチが巣をつくる礎となるシートのこと(原料はミツロウ)

徹底した品質管理

養蜂問屋としてミツバチや巣礎、巣箱を養蜂家の皆様に販売し、そこで採取された生産物を購入し、製品として全国に販売。同時に使われてきたミツバチの巣を買い取り、ミツロウを溶かしてかため、巣礎を作るというスタイルの継続で、無駄なところはほとんどなく、商品のトレーサビリティは常に明解に行われています。

また、品質管理部門では、原材料検査から最終試験までを自社で行い、厳しく品質をチェックしています。



ひとさじの贈り物

1匹のミツバチがその一生涯をかけて集めるはちみつの量は、ティースプーン1杯分だと言われています。年に1度しかない、植物が花をつける短い期間にだけ、ミツバチたちはその花の蜜を取ることができます。その日の気候に一喜一憂しており、また、ミツバチも繊細な生き物であるため、天候とミツバチの絶妙な条件が揃ってはじめて、本当においしいはちみつを採ることができるのです。

未来志向の循環型社会を実現する懐かしくも新しい養蜂業を目指して 豊かな自然を資源に、皆様の健康をサポートする平和的産業

最近では健康ブームも手伝って多種多様な製品が出回り、消費者の皆様はどれを選べばいいのか迷われることも多いかと思います。そんな時代だからこそ、当社では安心・安全で高品質な本物の製品作りを行わなければならないと肝に命じています。これからもミツバチが集めた自然からの貴重な恵みを無駄にせず、老舗養蜂問屋としての歴史と伝統を引き継ぎ、自信を持って皆様のお役に立てる製品を提供してまいります。

株式会社秋田屋本店
本社：岐阜県岐阜市加納富士町1丁目1番地 TEL. 058-272-1221 www.akitayahonten.co.jp



株式会社秋田屋本店
代表取締役 9代目 中村源次郎

平将門伝説と矢橋賢吉工学博士(三)

うみゆり連載集 中山道赤坂つれづれの記

故清水 春一

将門伝説の全国的な広がりの中で、最も

多く集中し、あれこれと語り継がれている東京の中心部で、その歴史的の真偽は別にして、日本の心臓部である国会議事堂や大蔵省（現在は財務省）にまつわる因縁話で、しかも

国会議事堂建設の実質的責任者であった矢橋賢吉博士や、大理石王と言われた矢橋亮吉翁のふるさと赤坂町では、身近かな親しみを感じing話として、荒尾町の「御首神社」に将門の首が祀られたのは、将門の愛妾の一人であつた「お美濃の方」の生れ故郷であり、また

南宮神社の神さまが空飛ぶ将門の首を矢で射る話、その弓矢の通つた「矢道町」の地名のいわれや、またその矢が落ちた処に祀られた「矢落神社」が揖斐郡池田町にある八幡神社の境内社の昔話など一般周知の外に余り知られていないが、幽かにでも消滅せず語り継がれてきている昔話がこのように多彩である

ことには改めて見直し考えざるを得ない民俗史として大切なことであるわけです。それは、社会文化の発展に伴う現代の合理主義、便利主義に堕して忘れ去られようとしている私たちが、過去に葬り去られようとしている「日本文化」の良き面を後世に大事な遺産として伝えてゆく責任を果たさねばならぬと思うからです。

扱て、本題に戻して矢橋賢吉博士の略歴を赤坂町史の人物伝記から拾つて見ますと、その先賢としての人柄を偲ぶ縁（よすが）となるかと思ひます。

一、工学博士矢橋賢吉は明治二年九月二十日不破郡赤坂村子安の矢橋家に誕生、父藤十郎、母きせの三男として長兄徳次郎、次兄為吉の三兄弟は良く愛育され、特に賢吉は幼少より魚釣りが好きで、杭瀬

川に出掛けるのが楽しみだつたという。二、長じて東京帝国大学の工科大学に学び卒業後さらに進んで研究に勤しみ、天稟の才能を発揮して工学博士の号を得た。三、また本因坊に師事して囲碁は初段の実力を養い、浄瑠璃は素人の域を脱すると

いうその他諸事に秀でて、何事も熱心に取組んで、一度び志したことは必ず成し遂げるといふ強固な意志は、技術家肌の才人として大いに認められていた。四、その後は東京に移住し、内務省、大蔵省に技官として勤務し、後ち大蔵省管財

局部長に就任、愛媛県宇和島町渡辺至の二女「すて」と結婚して一女「きみ」

（明治二十九年二月十日誕生）を挙げたが、博士は、昭和二年五月二十四日、東京府豊多摩郡渋谷町大字渋谷の自邸で、五十九歳の生涯を閉じて他界した。

五、晩年に及んで博士が、わが国建築学界の一権威として多くの官営建築を手掛け、最後に国会議事堂建設を手掛け、工事半ばに上棟式を挙げられたとき、棟札に「宮繕部長技師従三位勲三等矢橋賢吉」と記されており、その翌月に他界したことは、いたく惜しまれたが特に東洋第一を誇る議事堂の大建築完成に尽くした不滅の業績は大きく讃えられている。

（写真は、晩年の矢橋賢吉工学博士）



矢橋賢吉



矢橋林業株式会社

この冊子は、健康面、環境に配慮し作成しております。